

令和元年度微生物検査コントロールサーベイⅡ：結果報告

実施結果

参加施設：22 施設

回答施設：同定検査：22 施設

感受性検査：21 施設

結 果

☆菌株C：同定検査

○ *Enterococcus casseliflavus* 95.5 % (21 / 22)

○ *Enterococcus casseliflavus/gallinarum*
4.5 % (1 / 22)

同定法

自動機器

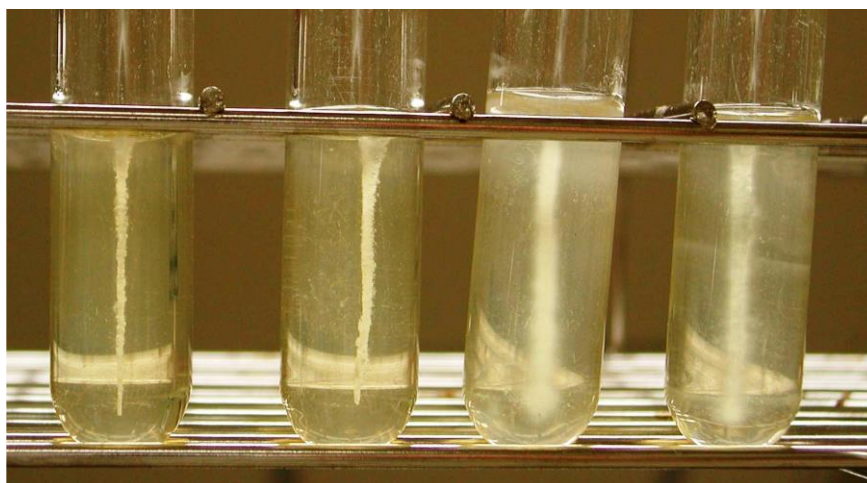
バイテック 2	31.8 % (7 / 22)
マイクロスキャン	27.3 % (6 / 22)
VITEK-MS	9.1 % (2 / 22)
MALDI バイオタイパー	4.5 % (1 / 22)
フェニックス	4.5 % (1 / 22)
ライサス	4.5 % (1 / 22)
クリスタル	9.1 % (2 / 22)
従来法	9.1 % (2 / 22)

E. faecium
(vanA)

E. faecalis
(vanB)

E. gallinarum
(vanC1)

E. casseliflavus
(vanG2)





☆菌株D：感受性検査（*Serratia marcescens*）：評価対象外

CTRX (8 μ g/mL), CFPM (≤ 2 μ g/mL), MEPM (≤ 0.5 μ g/mL) の株を使用した。

コメント

- ・クラスC型 β -ラクタマーゼ産生菌の可能性ある 76.2% (16 / 21)
- ・耐性遺伝子は染色体上に存在すると考えられる 14.2% (3 / 21)
- ・ESBLs産生菌の可能性ある 4.8% (1 / 21)
- ・KPC産生菌の可能性ある 4.8% (1 / 21)

血液寒天培地



ESBL確認試験

